

日本選手権大会(兼)世界陸上代表選考会への出場者決定

この度、第99回日本陸上競技選手権大会(兼)第15回世界陸上競技選手権大会代表選考競技会へ、北魁道選手が5000m、石川卓哉選手、藤川拓也選手が10000mに出場することが決まった。大会にはいくつかの参加資格が設けてあり、中国電力陸上競技部の選手は各種目標記録(5000m13分46秒00、10000m28分27秒00)を突破しての出場となる。

北魁道選手は今季5000m、10000mの自己最高記録を更新し好調、藤川選手は4月中旬に怪我が癒えて調子を上げてきた。また石川選手は過去に5000m7位、10000m6位と経験豊富で3選手とも期待が掛かる。

〔開催日〕平成27年6月26日(金)～28日(日)

〔種目〕5000m : 28日(日)

10000m : 27日(土)

〔場所〕新潟県新潟市



5000mに出場する北選手(写真は中国実業団陸上競技大会の様子)



貸切片道新幹線 『常車魂～RED RIDING～』開催

5月16日(土)対横浜DeNAベースターズ戦で、さまざまな地域のカープファンを対象とした貸切片道新幹線『常車魂～RED RIDING～』を開催した。

貸切新幹線は東京発で新横浜、名古屋、新大阪、新神戸に停車。車内にはチームカラーの赤い座席シートがかけられ、鈴木誠也選手や田中広輔選手による到着案内などが流れた。また、サプライズゲストとしてカープOBの高橋健さんが1日特別車掌として登場するなど車内は盛り上がった。

午後12時14分に広島駅に到着するとホームは1300人のファンの熱気であふれかえり、観戦場所のビジターパフォーマンスシートも赤く染まった。試合は12球団トップの防御率のジョンソン投手が先発し、7回7安打2失点と好投したが、打線が木村昇吾選手の犠牲フライの1点しか取れなかった。ジョンソン投手はこの試合で来日初黒星喫した。



真っ赤に染まったビジターパフォーマンスシート

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



JTサンダーズ
寛本翔昂選手

生年月日 1987年6月25日

身長 198cm

血液型 型

出身地 広島県

担当者からのコメント

地元広島県出身のミドルブロッカー！応援よろしく！

※トップス広島バレーボール学校 出身



車内にはカープのマスコットキャラクターのスライリーも登場



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダース



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



中国電力
陸上競技部



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局
〒733-0036
広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233
FAX:082-233-3251
URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



2015 フラワーフェスティバル トップス広島参加

5月3日(日)から5日(火)にかけてひろしまフラワーフェスティバル 2015 が行われ、トップス広島もパレードの参加やスポーツ体験コーナーを設置し、積極的にファンと交流をした。当日はサンフレッチェ広島、広島メイプルレッズ、広島ガスバドミントン部、中国電力陸上競技部、コカ・コーラウエストレッドスパークスホッケー部の5チームが参加した。ブースではトップス広島所属全チームのユニフォーム、用具展示やトップス広島応援グッズプレゼント、観戦についてアンケート調査を実施した。また、ふれあいひろばではハンドボール、バドミントンの体験やサンフレッチェ広島の若手2選手によるサイン会も行われるなど3日間賑わいを見せていた。

©2015 S.FC



3日に参加した選手たち



トップスブースに展示されたユニフォーム



ハンドボール体験の様子



子供にバドミントンを教える
広島ガスの選手たち



若手躍動し公式戦 5 連勝

5月2日(土)にサンフレッチェ広島はベガルタ仙台と対戦し、2-0で勝利した。試合は、前半37分に今季リーグ戦初先発のMF野津田岳人選手がMF丸谷拓也選手からのパスを受けると、ワントラップで相手をかまし、エリア外から利き足とは逆の右足を振りぬき先制に成功すると、野津田選手と同期のFW浅野拓磨選手も負けじと後半32分にMF青山敏弘選手のロングパスに抜け出し、豪快にゴールネットを揺らし勝利を決定づけた。ともに、U-22日本代表に選ばれる二人に対し、森保一監督も「チームにいい刺激を与えてくれている。彼らを含めてチームが成長している。」と喜んだ。このまま優勝を目指して頑張ってもらいたい。



ゴールが決まりハイタッチする浅野選手と野津田選手

水本裕貴選手が J1 新記録となる 127 試合連続フル出場と J1 通算 300 試合出場を達成

5月16日(土)にサンフレッチェ広島は鹿島アントラーズとアウェイで対戦した。この試合でDF水本裕貴選手がフル出場し、フィールド選手ではJ1新記録となる127試合連続フルタイム出場を達成した。2011年8月22日の鹿島戦から約4年、同じ鹿島戦で前人未踏の大記録をJ1通算300試合出場となる節目の試合で打ち立てた。

水本選手は2011年5月7日の甲府戦で頭部を負傷し、頭蓋骨骨折および急性硬膜外血腫と判明。緊急手術、懸命のリハビリを経て約3か月半後の鹿島戦にヘッドギアを着用して復帰。以降127試合連続でフル試合出場を続け大記録の達成に至った。

2012年、2013年にはチームのリーグ2連覇に貢献、2012年はJリーグベストイレブンに選出、昨季は警告ゼロでフェアプレー個人賞を受賞した。これらの結果も大きなケガがなく、退場処分や累積警告による出場停止を受けることなく、プレーを続けてきた賜物と言えるだろう。

なお、試合は2-2で引き分けだったが、この結果に「今日の失点は悔いが残る。次はゼロに抑えられるようにしたい。」と話している。自身の大記録を勝利で祝うことはできなかったが、毎試合毎試合の経験を糧に連続フル試合出場の記録をこれからも伸ばし続けてくれるだろう。



全日本シングルス 長江・村上第3位

5月16日(土)、17日(日)に第22回全日本シングルス選手権大会が千葉県蘇我市で開催された。全236名のエントリーのうち、NTTは6名のエントリー。大会2連覇を狙った長江光一選手は準決勝で敗れ惜しくも第3位。ナショナルチームメンバーの村上雄人選手が第3位という結果だった。次回のダブルス個人戦となる中国選手権大会ではNTT男子の上位独占が期待される。

4/26~5/25 トップス広島 試合結果

広島東洋カープ

4/26 カープ ● 0-6 ○ 阪神
4/28 カープ ● 0-1 ○ 横浜
4/29 カープ ○ 9-2 ● 横浜
4/30 カープ ● 0-1 ○ 横浜
5/4 カープ ○ 3-2 ● 巨人
5/5 カープ ○ 13-1 ● 巨人
5/6 カープ ○ 4-1 ● 巨人
5/15 カープ ● 5-6 ○ 横浜
5/16 カープ ● 1-2 ○ 横浜
5/17 カープ ○ 2-1 ● 横浜
5/22 カープ ○ 2-1 ● ヤクルト
5/23 カープ ● 8-12 ○ ヤクルト
5/24 カープ ● 8-9 ○ ヤクルト

サンフレッチェ広島

▽明治安田生命 J1 リーグ 1st ステージ

5/2 サンフレッチェ ○ 2-0 ● ベガルタ仙台
5/10 サンフレッチェ ● 0-1 ○ ガンバ大阪
5/23 サンフレッチェ ○ 4-2 ● アルビレックス新潟

中国電力陸上競技部

▽第54回中国実業団陸上競技選手権大会

10000m 1位 北 魁道 2位 藤川 拓也 4位 米澤 類
6位 竹内 一輝 8位 森本 卓司
1500m 3位 石川 卓哉 4位 岡本 直己
5位 山崎 亮平
5000m 2位 米澤 類 8位 藤川 拓也

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》



第 64 回黒鷲旗全日本男女選抜 ベスト 8

決勝トーナメント準々決勝の相手は、先の「2014/15V・プレミアリーグ」優勝決定戦を戦った相手でもあるサントリーサンバーズ。

第1セットを取られ、第2セット。ヴィソット選手のスパイクで先制点を挙げると、セット中盤にかけても着実に得点を加算。八子大輔選手と箕本翔昂選手のスパイクで24-18とすると、直後に1点を返されたが、最後はヴィソット選手が相手オポジットのスパイクを止めて25-19。第2セットを奪い返した。

第3セットに入っても、勢いは止まらない。立ち上がりでヴィソット選手のスパイクや越川選手のサービスエース、町野選手の速攻などを畳み掛けて6-3とリードを奪う。22-21の場面からは八子選手が連続でスパイクを決めて大きく勝機を引き寄せると25-22。第3セットも連取する。

セットカウント2-1として迎えた第4セット。序盤から力と力がぶつかり合う展開となるが、JTサンダーズの攻撃が要所で相手のブロックにかかり、得点源であるヴィソット選手の離脱も響き18-25。第4セットを落とし、勝負の行方は最終セットに持ち越されてしまう。

そして最終セット、両チームは勝利を巡って激しい攻防を繰り広げる。取られては取り返す大熱戦となり、試合は両者譲らず20点台に突入するが、相手のオポジットのスパイクと自らのミスで22-24となり、ゲームセット。激闘の末に惜敗し、ベスト8で「第64回黒鷲旗」を終えた。



ワクナガレオリック

全日本社会人ハンドボール選手権大会健闘も5位

5月20日から5月24日まで、第5回全日本社会人ハンドボール選手権大会が開催された。

ワクナガレオリックは、5月20日に1回戦でHC和歌山と対戦した。前半、ワクナガが18番中浦成崇選手、9番佐藤智仁選手の連続得点で先制し、その後もリードを広げ前半は、11-7で前半を折り返す。後半になると、HC和歌山が、徐々に追い上げ、後半27分には、同点に追いつかれる。しかし、終了間際に、10番稲毛隆人選手、17番子安貴之選手の連続得点で、20-18で勝利した。翌日の21日は、2回戦で、大崎電気と対戦した。大崎電気に先制されると、相手ペースで試合を運ばれ、前半を8-12で折り返す。後半は14番仁平昌利選手、4得点、6番野村浩輝選手が6得点と活躍するも、あと一歩及ばず、22-23で敗れた。

5-8位決定戦にまわったが、琉球コラソンに23-22で勝利し、5位決定戦に進み、トヨタ紡織九州と対戦した。6番の野村選手が前半だけで、5得点の活躍、18番中浦選手が、トータルで7得点の活躍で、30-23で勝利した。第5回全日本社会人ハンドボール選手権大会を5位で終えた。



広島メイプルレッズ

全日本社会人ハンドボール選手権大会5位

高松宮杯第5回全日本社会人ハンドボール選手権が5月20日（水）～5月24日（日）に富山県、富山市総合体育館で行われた。

広島メイプルレッズは、予選リーグで苦戦を強いられ、5・6位決定戦に回った。

予選第1試合でオムロンと対戦し、両者譲らない展開で、15対15で引き分けた。第2試合は、香川銀行T・Hと対戦し、健闘はしたものの、22対21と1点差で敗れた。

5・6位決定戦に回った広島メイプルレッズは、ソニーセミコンダクタと対戦し、27対22で勝利し5位となった。広島メイプルレッズのGKである板野陽選手の好セーブが光り、そこを起点にし、着実に得点を重ね、逆転勝利を収めた。



日本ランキングサーキット大会 小池・桜井組ベスト8

5月16日（土）～20日（水）、さいたま市記念総合体育館で日本ランキングサーキット大会が開催され、女子ダブルスに小池温子・桜井みどり組、平井亜紀・亀田楓組、混合ダブルスに小池・石川（丸杉）組、桜井・鈴木（東北マークス）組、亀田・小町谷（信陽食品）組が出場した。小池・石川組はペアの負傷があり、1回戦棄権敗退。桜井・鈴木組、亀田・小町谷組は1回戦を難なく勝利したが、続く2回戦で敗れてしまい惜しくもベスト16という結果だった。小池・桜井組は順調に勝ち上がり、準々決勝で福島・廣田（再春館製薬所）組と対戦し、敗れはしたが、ベスト8という結果だった。また平井・亀田組は1回戦敗退だった。

5月23日（土）から中国実業団大会、そして、6月21日（日）には中国地区総合選手権大会の予選が行われる。大会に向けて頑張ってもらいたい。